

# 飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

## HIYAKU

第307号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2012年2月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・黒坂道生

### 「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP\*NEWS

## 東海大学進学相談会開催

### ヨーロッパ研修旅行・ロシアガスパロム校との国際文化交流



メモをとりながら真剣に話をききます(東海大学進学相談会)



オーストリア オーベルンドルフ記念堂前にて(ヨーロッパ研修旅行)



習字を教えました(ロシアガスパロム校との国際文化交流)

# 東海大学進学相談会開催

1月14日(土)、高校2年生を対象とした「東海大学進学相談会」を開催しました。571名の保護者の方々にもご参加いただきました。大学の先生方から直接説明を聞くことができた貴重な機会でした。生徒たちは自分の選んだ2つの関心ある学部の説明を、熱心に聞いていました。午後は、教員研修が行われました。お話を伺いたくさんの意見交換ができました。高校3年の6月には進路が決定します。進路決定に大いに役立ててもらい、希望学部学科に向けてしっかり勉強に励みましょう。

## 生徒より



### 自分の歩む道

西 真澄

2年8組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

大学から先生方が直接足を運んでくださり、私たちのために大学進学における貴重なお話をしていただきました。お話を伺って思ったことは、大学生活は高校生活とは違い、与えられたものをこなすのではなく、自ら何をすべきなのかを判断

し、率先して行動しなければならないということです。東海大学は、自分の興味のあることを専門的に幅広く学べる環境が非常に整っています。大学生活の4年間で自分にとって意義のある充実したものとなるか、そうでないものとなるかは、すべて自分自身の責任であり、この整った環境をどのように生かしていくかが重要となってきます。大学の仕組みをよく知ることができるこのような機会は、私たちにとって大変貴重なものであり、どのような4年間にしたいのかをじっくり考える良い機会でした。自分が歩いていく道なので、将来のことを見据えながら、自分に合った選択をしたいと思います。

## 大学の先生より

### 進学相談会に参加して考えたこと

水島 久光

東海大学文学部広報メディア学科教授

昨今の進学指導で悩ましいのは、当然のように中学高校の延長線上に大学が位置されることにある。特に高校教育がごとごとく入試に結びつけられているように、大学の学部学科の選択は、「就職」に紐づけされてしまっている。

説明会や授業に何うたびに、私は、本来大学はそうした「職業予備校」的イメージの対極にあるものなのだとお話を話してきた。現代社会に後から「ついていく」のではなく、その複雑さ困難さを積極的に引き受け、乗り越える新しい方法を模索する場なのだ、と。

「どうやって進路を決めたらいいかわからない」という質問を受けた。「自分が好きなことをすればいい」と答えたら「それがわか

らないのです」とうつむかれた。残念ながら、こういったやり取りは少なくない。それだけ子どもたちは社会に対して「受け身」であることを強いられ続けている。この社会的閉塞感は結構深刻だ。

しかしこここそ内部進学者を数多く受け入れ、しかも早期に内定を出す意味があると私は考える。生徒と保護者、そして高大の教員が一緒の問題に向き合う時間がそこから生まれるからだ。今回の相談会もまさにそうした機会であったと思う。与えられた情報からの選択を強いられるのではなく、積極的に自分の軸足を定めるには、それなりの対話が必要なのだ。

「将来何になりたいか」を、職業の名で言うのではなく、自分の考え方や生き方、何が好きで、何のために頑張れるかで表現できる若者になってほしい。そうした主体性が重なりあってこそ社会には活力が生まれる。なにより大学は、そのためのコミュニティ(知的な出会いの場)であったはずだ。



## 教員研修

午後の教員研修では、3～4名の東海大学の先生方と4～5名の本校の教員が、全部で8つのグループに分かれて、質疑応答を含め90分、忌憚のない意見を交わしました。最新の大学情報を得るとともに、お互いに問題点、疑問点を持ちあつての活発な検討、討議が行われました。

## 第31回 付属高校生のための ヨーロッパ研修旅行

### 私の描く幸せ

小杉 健也

2年2組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

私が仮に10年後にパリへ行っても決して迷子にならないでしょう。それは私の記憶力が他人よりも優れているからではありません。パリの風景が変わらないからです。パリジャン・パリジェンヌは、昔ながらの街並みを残そうと努めています。パリの鉄道を見ると、鉄道駅はエスカルゴの形をしているパリの周辺部にあり、中心部にはメトロが走っています。そのおかげで歴史的建造物の外観を損なうようなこともなく、また無粋な電柱もありません。これもまた素晴らしい外観を維持するためのひとつの工夫です。このような彼らの絶えざる努力によって、パリは人々を魅了する街になっているのです。そして、この街に魅了された人々が、今度はその魅力を伝える仕事をする。それがツアーガイドです。彼らには、現地についての豊富な知識があり、それを聞いて私はただただ感激するばかりでした。ふとそのとき、私は彼らがすこぶる旅人の役に立っていると感じました。そればかりではなく、私も彼

2011年12月19日から29日まで、付属高校生30名が、「建学の精神」の源流の地であるデンマークをはじめ、ミュンヘン、ザルツブルク、パリを訪ねるヨーロッパ研修に参加しました。24日には「聖しこの夜」が初めて歌われたオーペンドルフの記念堂でコーラスを見学し、日本とはひと味違ったクリスマスイヴを体験しました。



フレデリックスボー城(デンマーク)



ノートルダム大聖堂にて(パリ)

らに憧れました。人に望むことを、人に施す。たとえどのような人種、信条、性別、社会的身分または門地によっても差別されません。私もそうした人間になれるように努力したい。世界各地を訪れ、古人の思想を受け継ぎ、人々に伝えたい。そして、いつの日かある少年がこんなことを言うでしょう。「私は、歴史を受け継ぐ人々を見て、自分も人の役に立ちたいと思った」と。その中の1人に入っていれば、私は幸せです。これが、今回のヨーロッパ研修の収穫です。

## ❖ ロシアガスプロム校との国際文化交流 ❖

2011年12月12日～22日までの11日間、ロシアガスプロム校との国際文化交流が行われました。この交流会には付属高輪台高校、浦安高校、翔洋高校の3校から3名ずつ計9名の生徒が参加しました。

文化交流では弓道、柔道、剣道、少林寺拳法、空手、茶道、華道、書道をロシアの生徒に紹介し実演しました。ロシアの生徒からは歌やダンス、ロシアンティー、極真会空手など様々な伝統的なスポーツや文化を紹介してもらいました。また、高校の授業にも参加しました。

ガスプロム校は小学生から高校生までが同じ校舎で学び、今回の文化交流でも高校生だけでなく幅広い年齢の生徒と交流することができました。今回の交流会を通して、ロシアの文化や歴史を学ぶだけでなく、積極的に学ぶ姿勢の大切さやコミュニケーションにおける英語の重要性などを実感した様子でした。



### HI THERE!!

大関 翔輝

3年3組 北区立十条富士見中学校出身

彼らとの交流では、私たちに一生懸命ロシアの音楽などの文化を教えてくれると同時に、日本の文化にもとても興味を抱いてくれ、教えた日本語をメモし、使ってくれた姿はとてうれしかったです。

私は今回の訪問で映像や文章、ニュースでは決して感じることでできない、自分の目で見て感じた本当のロシアの素晴らしさに気が付くことができました。そして、私は彼らの姿を見て将来、日本を支える日本人であるということも同時に自覚、認識させてくれました。

### Спасибо Газпром

(ありがとう、ガスプロム校)

佐野 帆波

3年5組 葛飾区立立石中学校出身

ガスプロム校の人たちはとても優しく、親切な人ばかりでした。私が披露した剣道に興味を持ってくれたので、言葉の壁を越えてコミュニケーションをとることができました。また、ロシアという国の素晴らしさを実感し、それと同時に日本の良さも改めて知ることができたので、このプログラムに参加して本当によかったと思います。このような貴重な体験をさせていただいたことにとっても感謝しています。ありがとうございました。

### 貴重な経験

高橋 紗耶子

3年8組 大田区立大森第四中学校出身

国際交流を通して、日本では経験することのできない貴重な経験をたくさんさせていただきました。日本にいる時には感じることでできなかった、世界の歴史を知ることや英語を身につける大切さを直接感じ、それにより世界の見え方が大きく変化することを感じました。ニュースで知るロシアとはまた違い、ロシアの人の温かさや積極性は見習わなければいけないものだと感じています。この経験を通し、より世界に目を向けられるようになりたいと思います。

# 中等部 1 学年 だより

## 後期中間試験後に

11月29日(火)から30日(水)の2日間に、後期中間試験が実施されました。試験のことを話題にすると気が重くなるばかりなので(?)、明るい話題に変えましょう。

翌12月1日(木)にスポーツ大会をアリーナで、2日(金)に校外活動ということで、江戸東京博物館に行ってきました。両日ともに冬の寒さに襲われましたが、生徒諸君は元気いっぱいでした。

### クラスがひとつに!!

富永 基訓子

1年A組 品川区立立会小学校出身

中間試験が終わってすぐのスポーツ大会。普段の体育の授業とは違って、いろいろな競技をすることができました。どの競技でもやはり中3の先輩がいちばん団結力に優れ、さすがと思いました。中1から中3になるにつれて、どんどんクラスの仲間としてのきずなも深めあえて、クラスとしての団結力がよく見られると思いました。中3のときだけ協力し合い、中1や中2のときよりも楽しむのではなく、ぜいたくに3年間その楽しさを味わいたいので、今のうちに上級生の良いところを見習い、先輩たち以上に楽しい中等部生活にしていきたいと感じました。

1年生も残りわずかですが、来年から私たちにも後輩ができます。特に部活動では、自分たちが後輩をいかに成長させられるかということが求められています——後輩の成長は私たちが鍵を握っているのではないかと考えました。

今回のスポーツ大会を通して、クラスのきずなを深め合うことがいかに大切であるかを改めて実感しました。来年度はクラス替えがありますが、自分たちでよいクラスを作っていき、来年も楽しいスポーツ大会にしたいです。

### 江戸東京博物館へ行って

井上 和

1年B組 葛飾区立南奥戸小学校出身

私は「江戸東京博物館」の近くに家があります。そのため、家族と行ったり、小学校の校外活動でも何回か訪れたことがあります。だから、「江戸東京博物館」の大部分を知っていたつもりでしたが、小学校時代の「江戸東京博物館」のイメージと今回とは違っていました。

小学校時代の私はいろいろな展示物を見て、「すごいな」とか「このお人形たちかわいい」など感じていました。しかし今回は、「この建物は〇〇を守るんだ」とか「江戸東京博物館は江戸城と同じ高さなんだ」というように、小学校時代とは異なる視点で展示物を見ることができました。

「江戸東京博物館」では、成長した私を発見することができました。小学校6年次から約半年が経過しただけで、これほど変わることができるんだと痛感しました。これから先、高校生や大学生になった時も、「江戸東京博物館」を訪れたら、違った視点から見学できるのかなと思いました。



人力車に試乗



復興記念館にて



見学後の昼食



観戦中



スポーツ大会を終えて

# 中等部2学年だより

## ☆新年の抱負☆

中等部2年も残りわずか2か月。4月からは、いよいよ最上級学年の3年生となります。学習のこと、部活動のこと、将来のこと、これから先の夢は尽きないと思いますが、4名の生徒に新年の抱負を語ってもらいました。

### 助け合い

北郷 千聖

2年A組 板橋区立志村小学校出身

去年は家族・友達・先生など、多くの人の支えや助け合うことの大切さをとても学ぶ年になりました。

私は部活動の大会のために減量をしていたことがあります。そんなとき友達や先生などはすごく心配してくれ、応援してくれました。また家に帰ると、親が全員の夜ご飯を野菜中心にするなどいろいろと協力してくれました。その時の多くの人の支えには、今でもすごく感謝しています。また去年は今までに経験したことのない大地震があり、多くの尊い命が失われました。そんな中、ボランティアの人や海外からの支援、学校での募金をみて、助け合いって素晴らしいなと思いました。去年の漢字であった「絆」を改めて実感することができました。

誰にも頼らず一人で生きていく力も大事です。けれども、まわりの人を助けたり、助けられたりする関係を築いていくことは、もっともっと大事だなと思いました。去年の恩返しをするような気持ちで、平成24年を過ごせたいです。

### 全力で

金子 萌香

2年B組 横浜市立子安小学校出身

ドキドキしながら入学した1年生からあつという間に2年生になり、それも終わろうとしています。いよいよ最高学年になります。生徒会の副会長にもなったので、みんなのお手本になるような人になりたいと思っています。まずは、頑張っ勉強して成績をあげたいです。1年生からライバルの子がいます。私はその子に2年生になってから引きはなされたと思います。なので、前のように良いライバルになるために頑張りたいです。

つぎに、バスケの練習中にいためた足を必ず完治をさせます。私の足のせいで、みんなと喜びや楽しさをわかり合えなかったり、みんなに迷惑をかけてしまったりしました。部活動もまともにできなくて、全く活躍することができませんでした。なので、今年は部活動に復帰して、遅れを取り戻せるように頑張りたいです。

「何事にも全力で取り組む」ことを目標にして心がけていきたいと思っています。

### 学習と部活動の両立

田中 理祥

2年A組 千代田区立千代田小学校出身

僕は今年、頑張っていきたいと思うことは2つあります。

1つ目は、勉強です。3年生になると勉強内容も増え、さらに今までよりも難しくなります。なので、きちんと予習・復習をして授業についていき、テストで良い点を取ることができるようにしたいです。

2つ目は、部活動です。僕は吹奏楽部に所属しています。今までの大会では、1年生の時と比べて成績は上がっています。ですがまだ、1位を取ったことがないので、今年こそは取ることができるように努力したいです。また3年生となり、ほかの後輩たちをリードできるように頑張っていきたいです。そして僕は来年度、部長にもなるので、この部の部長であるという自覚を持ち、ほかの人の手本になり、後輩たちをまとめていけるように努力をしていきたいと思っています。

### 部活動への思い

曾根 なつみ

2年B組 足立区立東伊興小学校出身

今年、特に頑張りたいことが1つあります。それは、もっと楽器を練習して憧れの先輩に近づくことです。私は吹奏楽部でアルトサクソという楽器を吹いていて、高校の同じパートでとてもうまくて尊敬している先輩がいます。その先輩のように上手になって活躍したいと思ったので、この目標にしました。なので、毎日少しずつ基礎をやって、少しでも近づけるように頑張っ練習したいと思っています。

それから、今年の夏のコンクールも金賞をとって東日本大会に行けるように、きちんと後輩を指導して、自分もたくさん練習をして、良い結果が出せるように頑張りたいと思います。4月からはもう先輩たちはいないし自分たちが一番上の学年なので、3年生としての意識をもって部活動を頑張っいきたいです。部活動だけじゃなくて、勉強もそれなりに良い成績がとれるように頑張りたいです。

# 中等部3学年だより

## 校外行事 ～テーブルマナー講座～

12月15日(木)、中等部3年生はテーブルマナー講座に参加しました。2か月後のニュージーランド海外英語研修旅行に向けて、ナイフやフォークの持ち方、洋食の食べ方を学びながら食事を楽しみました。

### 気付きと気遣い

大島 瑠姫

3年A組 墨田区立柳島小学校出身

今回マナー講座を受けて、マナーとは自分のためだけではないと知りました。周りの人が自分の食べているところを見て不愉快にならないように、みんなで楽しく食べるためにあるのだと初めて知りました。私が思っていたテーブルマナーは自分をよく見せるためだと思っていたので、全く違い驚きました。マナーは所々気をつけないといけないので面倒だなと正直思っていました。でも、今まで私が友達や家族と食事をしてきた時のことを思い出すと、とても失礼なことをしていたんだなと気がきました。なので今回のマナー講座を受け、食事における気遣いの大切さを学べてよかったなと思いました。また、私が大人になって社会に出た時に、教えていただいたことを活かしていきたいなと思いました。大人になった時だけでなく、ニュージーランドへ行っても少しずつやっていきたいです。

私にとって今回はとても意味のある講座だったと思います。このことを忘れず、礼儀正しい気遣いのできる大人になりたいです。

### 楽しく学べたマナー

高沼 真衣

3年B組 草加市立清門小学校出身

私は、今回初めてマナー講座というものに参加しました。マナー講座というくらいなので、ものすごく堅苦しいものなのかと思っていましたが、そこまで堅苦しくもなく、逆に楽しくマナーについて教えてもらうことができました。講師の方のお話を聞いている時に、やはりマナーがないといけないなと改めて思いました。

私は、電車に乗っている時、嫌な思いをしました。なぜかという、口を開けてくちゃくちゃと食べている人がいたからです。今回マナー講座に参加して、絶対このような人にはなりたくないと思いました。

今回学んだことを、ニュージーランドへ行った時や、大人になった時などに思い出し、生かせるよよいと思います。今まで知らなかったマナーも知ることができたので、参加できてよかったと思います。お料理もおいしかったので、本当に楽しいマナー講座でした。



講座開始前。独特の緊張感が漂っています…



いつものお弁当とは違い、どこかぎこちない男子たち



女子たちは表情に余裕が。テーブルマナーはお手の物?



おいしそうな料理に満面の笑み!



パンのおかわりが殺到し、店員さんも大忙しでした



お礼の言葉をしっかり述べていました

# 高校1学年だより

## 高校現代文明論

高校1年生では、週に1時間「高校現代文明論」という授業を学級担任が行っています。授業の中で、社会問題について班ごとにテーマを決め、ポスターにまとめて発表を行いました。この発表を通して、自分たちの調べたテーマや他の班の発表を聞いて、さまざまな問題について理解を深めたようです。



### 小林 一輝

1年1組 八街市立八街南中学校出身

今回、他の班の発表を聞いて思ったことがあります。私が良いと思った点は、発表する際に「これから〇〇について、3つほど話をします」などと始めることで、最初に内容を明らかにし、聞く人が話を理解しやすくしていたことです。また、途中途中にクイズを入れることで、その場の雰囲気や堅苦しくなく、和むようにしていたこと、その他、ポスターに図を大きく描いて、それを有効に使いながら説明していたことも印象に残りました。

次に、改善した方が良かった点は、私もそうでしたが、アイコンタクトが十分にできていなかったことです。このアイコンタクト不足の原因は、文章になっている原稿が手元にあるため、それを読んでしまったためだと思います。もし、それをメモ程度にとどめて、その場で言葉をつなぎ合わせながら話すようにすれば、アイコンタクトの問題も解決したかもしれません。これができれば、発表が与える印象も大きく変わったと思います。

次回また機会があったら、今回の反省を生かし、よりよいものができるように努力します。

### 中武 千歩

1年2組 八王子市立陵南中学校出身

私たちが調べたのは森林破壊です。森林破壊は日本ではあまり耳にしません、近年、日本でも森林破壊が起こっています。例えば、昔は必要以上には木を切らず、切った所にはまた植林するなどの方法がとられていましたが、近年、海外から日本への木の輸入が増え、木の販売量が大きく減りました。人間のエゴのために森林を切り開き、ダムやリゾート施設をつくったのです。

森林は日本の大切な資源です。空気をつくり、水をたくわえ、土をつくります。それにより、土砂崩れや地球温暖化も防いでいるのです。このまま森林破壊が続くと100年で森林はなくなってしまうと報告されています。森林がなくなると動物は絶滅してしまうかもしれないし、その時代に住む人の負担も大きくなります。

森林を破壊しないためにも私たち人間が森林を保護し、森林破壊を防ぐためにどうするべきなのか考えることが大切だと思います。

### 潤 政希

1年7組 川崎市立玉川中学校出身

大気汚染、海洋汚染、ゴミ問題、これからの環境汚染は私たち人間が良い環境を作ろうとして出た代償で、仕方がないことだと考えては絶対いけないと思います。ですが、今の環境を汚染される前のキレイな環境に今すぐ戻すことはほとんど不可能で、仕方がないと思ってしまう。

生活排水で染まった海、排気ガスで濁った空やゴミしかない場所など、これらをいかにキレイに戻すか、これを一人で思っているだけでは意味がありません。だったらどうするか…同じ思いを持つ人々で解決していけばいいはずですが。しかし、同じ思いを持つ人がまだまだ少ないので、なかなか改善されてないのが現実だと思います。

事の重大さをより多くの人々に知ってもらい、共感を得られなければ、事は先に進まない、今回調べていて感じました。

### 井出 貴弘

1年8組 大田区立東蒲中学校出身

放射線は浴びすぎると、人体に悪影響を及ぼしてしまいます。ですが、どれくらい浴びたら悪影響が出るかは、ほとんどの人が知らないと思います。最近では、福島原子力発電所において、かなり大きな事故がありました。もし自分があの事故をあの場所で見たら、放射線についての知識が全くなかったので、絶対パニックを起こしていたと思います。そして、多くの人たちが私と同じ状況になると思います。

そうならないためにも今私たちは、放射線の問題と向き合うことが大切です。ニュースや新聞をたくさん読んで情報を取り入れ、将来に向けて放射線について詳しく考えるべきだと思います。

# 高校2学年だより

## スポーツ大会

2011年12月17日(土)に、本校アリーナにて今年度第2回となるスポーツ大会が実施されました。どのクラスも優勝の栄冠を目指し、全力で取り組みました。結果は団結力が優れていた3組が総合優勝をしました。今回は、「江口点」という応援でも点数が加算されました。クラスが一団となって応援し盛り上がりました。

### 強い団結力

野本 怜奈

2年3組 市川市立高谷中学校出身

私たちのクラスは前回のスポーツ大会では9位でした。けれど今回1位になれたのは、クラスの団結力が7カ月前よりも強くなったからだと思います。私が出場したバレーボールでもそのことを強く感じました。バレーボールはチームワークがとても大切な競技だと思うので、準優勝という結果を残せたことはとてもうれしかったです。男子のバレーボールでも3位という結果で、男女ともにチームワークが良くなっていることを実感しました。他のドッチボールやバスケットボールなどの競技も男女の隔てなくお互いに応援し、全体では総合優勝という素晴らしい結果を残すことができ、とてもうれしいです。来年のスポーツ大会では個々の競技で優勝できるように頑張ります。

### 燃えた7組

小林 優里奈

2年7組 清明学園中学校出身

私たちのクラスは前回のスポーツ大会で優勝し、今回も二連覇できたらと思っていましたが、結果は準優勝でした。しかし、男子バレーと綱引きは前回同様優勝し、女子バスケは一回戦負けだったのが、初戦を突破することができました。

また、前はクラス替え後すぐのスポーツ大会だったこともあり、クラスの応援はどちらかといえば控え目でしたが、今回は江口点という応援点もプラスされることになり、どのクラスも応援を頑張っていました。クラスみんなで応援し合うことで、普段あまり話すことのない友達とも仲良くなる良いきっかけとなりました。

このクラスで卒業を迎えるにあたり、今後さまざまな行事でも協力し合って今よりもっと仲を深めていきたいです。また次回のスポーツ大会では、打倒3組という目標を掲げながらリベンジしたいと思います。

### みんなで

田中 百合那

2年9組 東京学芸大学附属竹早中学校出身

今回のスポーツ大会で私が1番思い出に残っている種目は女子バスケットボールです。私たちは優勝するために、試合中の動きの役割を決めました。その作戦が利いたのか順調に勝ち進み、ついに決勝戦へ進みました。決勝戦の前、コートを見渡すと9組のみんなや友達や大切な人がいました。みんなが「頑張れ!」と言ってくれて、力が出ました。絶対に勝ちたいと思いました。そして、決勝戦はたくさんの点を取って勝ち、みんなのところへ行くと「おめでとう」と言って一緒に喜んでくれました。そして私は思ったのです。コートに出た5人と、応援してくれたみんなで勝つことができたのだと。本当にみんなありがとう!





# 高校3学年だより

## 特別講座紹介

高校3年生は、卒業試験終了後の12月7日(水)から1月31日(火)までの期間、大学入学後の授業をスムーズに理解し受講できるようにするために進路別にクラス編成を行い、進路に応じた授業を展開しています。また、学部によっては大学の先生による講義なども行っています。今回は、いくつかの特別講座を紹介したいと思います。

### 「中学生に教える難しさ」(理科)

櫻井 康裕

3年9組 中野区立第九中学校出身

SSHクラスでは、特別講座でサイエンスコミュニケーターという授業を行っていました。サイエンスコミュニケーターとは、中学1年生を対象に実験などを行い、科学の楽しさと簡単なしくみを伝えることを目的とした授業です。中学1年生が対象ということで、私たち高校生では当たり前のことも中学生にはわからないことだらけです。そのため授業では、中学1年生までの知識などでいかにわかりやすい授業を行うかなどを考えながら授業構成などを考えました。



### 「大学の授業を体験して」(情報)

黒澤 翔梧

3年8組 足立区立第十一中学校出身

特別講座で、大学で行われる授業を経験して、高校と大学の違いを感じました。特に強く感じたのは、授業の時間が90分になることや、より専門的なことを学ぶために今まで以上に予習や復習が必要になっていくことです。残りの高校生活では、これらの経験を生かして、大学生になる準備をしっかりとしていきたいです。



### 「幅広い学習を通して」(地歴・公民)

諸橋 恵

3年2組 大田区立貝塚中学校出身

特別講座の地歴・公民科では、世界遺産のことなど普段の授業ではあまり触れることができない分野の勉強をしたり、人種差別などを題材にした映画を観ました。特別講座でしか学ぶことができない知識もたくさんあると思うので、一つ一つの授業を大切にしていきたいです。



心理・社会学科、石垣先生による講義

# 2011年度学校運営方針

## キャリア教育の充実

キャリア教育の充実に対して、全教員で取り組みます。

今年度高校3年生の東海大学進学希望者は、6月に345名が、9月末までには大学335名、短大18名の合計353名(在籍者の86.1%)の進路が決まりました。

付属推薦の早期決定に対応し、高校2学年末には進路志望がほぼ決定できるような指導体制を確立させます。学級担任、学年主任、進路指導主任、教頭、校長等による面接を実施し、早い時期から丁寧な進路指導を実践します。また、体験留学(科目等履修生:東海大学)、HTIC中期・長期留学、カナダ短期・中期留学を更に推進し、定着させます。

「特別学力推薦」にも積極的に取り組ませながら、希望者全員が学園内の大学・短期大学に進学できるよう指導します。

- ①全教員が東海大学などの学部・学科の内容を理解し、適切な進路指導ができるようにします。
- ②学校報「飛躍」、「PERFECT GUIDE BOOK」等を通して、東海大学の学部・学科理解を深め、正しい進路選択ができるよう指導します。
- ③キャリア教育の充実を図り、高校1年生から進路指導を徹底、自分の将来像を捉えて大学・学部選びができるように指導します。そして、高校2学年修了時の進路決定を目指します。
- ④SSH研究開発の成果を学校全体の教育活動に普及させ、理工系への進路志望をもった生徒を育成します。また、女子生徒の理工系への進学を推進します。
- ⑤生徒の多様な進路希望を実現させます。
- ⑥高校1・2学年の夏期カナダ短期留学、高校3学年後期の体験留学(科目等履修生)、HTIC中期・長期留学、カナダ中期留学、東海大学エクステンションセンターなどへ意欲のある生徒を積極的に参加させ、成果をあげさせます。また、学内では、大学の進学先のタイプ毎にクラスを再構成した特別講座や、大学の教員による訪問授業など、魅力ある授業を展開します。

## 生徒に対する指導全般において、教員間、教科間、学年間、分掌間等で連携を取りチームワークを重視し、組織として生徒指導に当たる

昔は、授業のやり方や生徒指導の方法は、先輩教員の指導方法を見て盗めと言われました。現在でも学校によっては他の人の授業を見ることができない学校もあるようです。

本校では全ての授業がオープンになっているため、誰の授業でも自由に参観することができますし、中等部のTT(チーム ティーチング)型授業や、アクティブボードの出現で、授業開発はチームで取り組む条件が満たされました。また、SSH校に指定された事で、いくつかの教科がコラボレートする授業も取り入れられています。

授業のみならず、生活指導や進路指導などにおいても、学年全体、学校全体で生徒指導にあたらうという姿勢が貫かれています。

## 第4回 スーパーサイエンス教室開催

12月18日(日)、スーパーサイエンス教室を本校で開催しました。スーパーサイエンス教室は、周辺地域の小学生を対象としたSSHクラスの生徒による科学教室です。元東海大学理学部物理学科の鈴木恒則先生による科学講座「手づくりカメラで3Dを体験しよう」と生徒による体験実験を行いました。当日は、小学生はもちろん保護者の方も楽しんで実験に参加していました。生徒たちはこの活動を通して、普段は学ぶことのできないことをたくさん吸収できたと思います。来ていただきありがとうございました。

### 科学講座

#### 小藤 佳奈

3年9組 川崎市立立島中学校出身

私は科学講座を担当しました。科学講座ではピンホールカメラを小学生と作り、3D写真を撮りました。内容はとても簡単ですが、なぜ写真を撮ることができるのかなど、どうやったら小学生が理解できるのかとても悩みました。ですが、委員会の皆で協力して考えることで、本番では小学生にわかりやすく説明することができ、また楽しんで実験を体験してもらうことができました。そして、私は将来学校の先生になりたいと考えているので、このスーパーサイエンス教室での体験を、今後の将来に生かしていきたいと思います。

#### 担当生徒(学年)

小藤 佳奈(3)・北出 紘章(3)・藤城翔太郎(3)  
瀬戸龍太郎(2)・長瀬慶太郎(2)  
橋本 幸亮(1)・美馬夕佳里(1)



ピンホールカメラを一緒に作ります

### 体験実験コーナー

#### 森 一史

3年9組 横浜市立日吉台西中学校出身

私は、『霧箱』という今話題の“放射線”についての実験を行いました。目に見えない放射線を、アルコールやドライアイス・放射性物質を使って暗室で観察し、「はかるくん」という測定装置で実際に放射線量を測定してもらおうというものでした。相手が小学生なので、内容を簡単な言葉にかみくだいて説明していかなければならなかったのが大変でした。また実験ではドライアイスを使うので、けがをさせないように十分に気を配りました。想定外の質問が小学生たちから出て、答えに詰まるような場面もありましたが、どうにかクリアできてほっとしました。このようにSSH活動の一環で体験教室をすることは貴重な経験になると思います。自分の専門分野や考えを相手にわかりやすく伝えることの大切さを学べました。

#### テーマ

#### 担当生徒(学年)

#### リバーシブルパズル

矢野 琢弥(3)・五十嵐 慧(1)  
後田さくら(2)・鶴巻 舞(2)  
足立 宏義(2)

#### 一刀切り

岩田 昌也(3)・並木 涼(3)  
佐野 千奈(2)・江崎 友也(2)

#### 紙飛行機

小川 雄樹(2)・筒井翔太郎(1)

#### 霧箱

森 一史(3)・岩崎 俊哉(1)

#### 空気砲

野尻 尚志(3)

#### ストロー笛

明才地悠太(2)・寺田 拓郎(1)

#### 顕微鏡・葉脈標本

石黒 萌里(2)・大塚 椋一(1)

#### スーパースライム

森田 友佳(2)・小島 僚太(1)

#### 紫キャベツ

有田 達也(1)

#### 液体窒素

李川 良輔(2)・菅野 智裕(1)



放射線を見る前に、放射線について知ろう



何色に変化するのかな?

# お知らせ

## 基礎力判定テスト 高1、高2

■ 日程 2月7日(火) ■ 試験科目 国語・地歴公民・数学・理科・英語

高校生として身につけておく必要のある基礎学力のチェックです。  
これまでの学園テスト、外部テスト、中間・期末テストを再度見直して復習を!!

## 中等部3年 ニュージーランド海外英語研修旅行

日程 2月14日(火)～23日(木)

オークランドで8泊のホームステイを行い、昼間は現地の語学学校で語学研修を行います。  
英語力をさらに向上させるための英語研修のほかに、  
現地校訪問では現地の学校で授業に参加し、牧場では羊毛刈ショーを見学します。  
十分に準備をして素晴らしい思い出を作ってください。

### 行事予定

## February 2月

## March 3月

- 1日(水) 中等部第1回入学試験 **生徒自宅学習日**
- 2日(木) 中等部第1回入学試験合否発表 平常授業
- 3日(金) 中等部第2回入学試験 **生徒自宅学習日**
- 4日(土) 中等部第2回入学試験合否発表
- 7日(火) 卒業試験(中3～9日)  
基礎力判定テスト(高1、2)
- 9日(木) 金曜日の授業(中1、2、高1、2)
- 10日(金) 高校一般入学試験、**生徒自宅学習日**(中2、3、高1、2)  
Tokyo Sightseeing Tour(中1)
- 11日(土) 高校一般入学試験合否発表
- 13日(月) 朝礼[正制服着用]  
短縮授業  
答案返却(中3)
- 14日(火) **ニュージーランド海外英語研修旅行(中3、～23日)**
- 24日(金) **振替休日(中3)**  
**登校日(高3)**

- 2日(金) 3年生を送る会(1時限)  
高輪会入会式(高3)
- 4日(日) **高校第61回、中等部第3回卒業証書授与式**
- 5日(月) 振替休日(**生徒休業日**)
- 6日(火) 後期期末試験(高1、2年、～9日)  
金曜日の授業(中等部)
- 7日(水) 後期期末試験(中1、2年、～9日)
- 12日(月) 答案返却日、教科書販売(新中3、新高3)
- 13日(火) **生徒休業日**
- 15日(木) 修了式  
離任式  
教科書販売(新中2、新高2)
- 17日(土) 高校新1年クラス分け試験
- 21日(水) **中等部希望者講習(～26日)**  
**高校基礎力判定テスト結果補習(～26日)**
- 24日(土) 後援会委員会

### 推薦入試



登校



作文試験



面接試験



合否発表

### 編集後記

福島原発の事故以来、定期点検に入った原発の再稼働がそのまま認められなければ、この4月にはすべてが停止することになる。不足分は当面火力発電に頼らざるを得ないが、ここに来てにわかに「石油危機」が現実味を帯びてきた。イランの核開発に対するアメリカの経済制裁に対抗して、イランがホルムズ海峡の封鎖を示唆したからだ。わが国に向かう原油タンカーの80%はこの海峡を通過する。もし武力紛争にエスカレートすれば、昨年を上回る電力危機どころか、経済の大混乱は必至である。各国の英知に期待したい。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>